

研究業績・教育活動一覧

2008年10月1日から2009年9月30日までの研究業績を、氏名の五十音順に著書、論文、研究発表の3項目に分類し、掲載した。

青野宏美 学校教育課程 地学Ⅰ 教授

【論文】

- ・「河床礫と海浜礫の長軸方向の定向配列」『岐阜聖徳学園大学紀要〈教育学部編〉』第48集 1-15頁 2009年2月
- ・「河原に見られる礫の定向配列の教材化—岐阜県木曾川・長良川の河床礫の定向配列—」『岐阜聖徳大学教育学部教育実践研究センター紀要』第8号 183-195頁 2009年2月

【研究発表】

- ・古木曾川の河床堆積物—古木曾川の河床を歩こう—日本地学教育学会全国大会 三重大学 2009年8月

荒木照子 初等教育課程 保育内容 教授

【論文】

- ・「幼児の傍らに居る保育者になるための思索 Ⅲ—幼児の行為の意味をとらえる考察方法の一試案—」(共著)『岐阜聖徳学園大学教育学部教育実践科学研究センター紀要』第8号 105-116頁 2009年2月
- ・「幼児が自己肯定感を育てていく姿からの学び」(単著)『佐賀大学文化教育学部 附属幼稚園研究紀要』第11集 113-117頁 2009年2月

【研究発表】

- ・「真宗保育における自己評価・自己点検の充実をめざして(1)—真宗保育に関する自己評価・自己点検の実施状況についての調査—」真宗保育学会 第16回福岡大会 2008年11月
- ・「幼児のその時を支えるための保育者の省察 Ⅰ」日本保育学会 第63回大会千葉大学 2009年5月
- ・「幼児のその時を支えるための保育者の省察 Ⅱ」日本保育学会 第63回大会千葉大学 2009年5月

荒木善子 学校教育課程 声楽 教授

【研究発表】

〈演奏〉

- ・「ドイツ音楽の午後」メルサホール 2008年10月
- ・「第1回名曲と第九コンサート」主催：ADOTOPS 未来会館運営共同体 岐阜県県民文化ホール未来会館長良川ホール 2008年12月

石原一彦 学校教育課程 ICT基礎 教授

【論文】

- ・『『教育の情報化に関する手引き』における情報活用能力の規準リスト』『日本教育工学会第25回全国大会講演論文集』683-684頁 2009年9月
- ・『200の評価規準に基づくICT活用指導力の向上を目指した教員養成カリキュラム』『岐阜聖徳学園大学紀要〈教育学部編〉』第48集 17-31頁 2009年2月
- ・『8話のドラマによるケータイ向け情報モラル教材の開発』『日本教育工学会研究報告集』09(1) 9-16頁 2009年3月

【研究発表】

- ・『Development of teaching materials for information ethics covering the positive and negative aspects of mobile phones』ED-MEDIA 国際学会 ハワイ 2009年6月

内田健太 学校教育課程 漢文学 専任講師

【論文】

- ・『銭穆「記公安三袁論学」について』(単著)『岐阜聖徳学園大学紀要〈教育学部編〉』第48集 114-130頁 2009年2月

大城順子 学校教育課程 スポーツ演習 准教授

【研究発表】

〈審判技術〉

- ・『第61回全日本新体操選手権大会』審判員 千葉ポートアリーナ 2008年12月
- ・『OHK杯瀬戸内新体操国際交流大会2009』審判員 高松市総合体育館 2009年3月
- ・『第61回全日本学生新体操選手権大会』審判員 栃木県小山総合運動公園体育館 2009年8月
- ・『平成21年度全日本新体操クラブ選手権大会』審判員 東京体育館 2009年8月
- ・『第29回世界新体操選手権大会』審判員 三重県営サンアリーナ 2009年9月

大沢正善 学校教育課程 国文学概論 教授

【論文】

- ・『工藤直子『のはらうた』の世界—子どもの発達の視点から—』(単著)『岐阜聖徳学園大学紀要〈教育学部編〉』第48集 146-132頁 2009年2月
- ・『「柿食へば」の「ば」』(単著)『岐阜聖徳学園大学国語国文学』第28号 81-94頁 2009年3月

大西隆之 学校教育課程 作曲法 教授

【研究発表】

〈作曲〉

- ・『マンドリンオーケストラの為のバラード第10番“風色の断章”』岐阜聖徳学園大学ギターマンドリンクラブ第27回定期演奏会 サラマンカホール 2009年2月

小田 勝 学校教育課程 国語学 教授

【著 書】

〈共著〉

- ・『大学生のための敬語入門』三恵社「第1部解説編」9-42頁 2009年9月
- ・旺文社編『全国大学入試問題正解 国語（私立大編）』2009年5月 解答・解説執筆
- ・旺文社編『全国大学入試問題正解 国語（国公立大編）』2009年6月 解答・解説執筆

【研究発表】

- ・「〔招待発表〕相互承接からみた中古語の時の助動詞」日本語文法学会 甲南大学 2008年10月

加藤 晴子 学校教育課程 音楽科教育法 准教授

【論 文】

- ・「小学校における歌唱表現学習の試み―「音読から歌唱へ」を視点とした実践事例―」（共著）『岐阜聖徳学園大学紀要〈教育学部編〉』第48集 89-98頁 2009年2月
- ・「自ら思考するピアノ表現学習における学生の意識の変容―イメージ描画からのアプローチを例に―」（共著）『岐阜聖徳学園大学紀要〈教育学部編〉』第48集 99-111頁 2009年2月
- ・「日本の春の季節進行と季節感を切り口とする気象と音楽との連携―小学校での授業実践―」（共著）『天気』第56巻4号 15-28頁 2009年4月

【研究発表】

〈演奏〉

- ・「クララザールを愛する仲間たち第2回コンサート ギターの響きとともに」クララザール 2009年3月

亀井 良幸 学校教育課程 管打楽器奏法 教授

【研究発表】

〈指揮〉

- ・名古屋緑吹奏楽団 第20回定期演奏会 アートピア 2009年4月
- ・第27回緑区民音楽祭 緑文化小劇場 2009年6月

北澤 純子 学校教育課程 スポーツ演習 専任講師

【研究発表】

〈審判技術〉

- ・「第15回ジュニア地区対抗陸上競技大会」審判員 岐阜地区陸上競技協会 2009年9月

久野 将健 学校教育課程 鍵盤楽器演奏 准教授

【研究発表】

〈演奏〉

- ・「ドイツ音楽の午後」メルサホール 2008年10月
- ・「サラマンカミュージックプロムナード」サラマンカホール 2008年10月

- ・「日本オルガン研究会第34回総会オルガン演奏会」東京・カトリック田園調布教会 2009年5月

小泉 晋一 学校心理課程 臨床心理学 准教授

【著 書】

〈単著〉

- ・『情動心像の鮮明性に関する実験臨床心理学的研究』風間書房 2009年3月

〈共著〉

- ・『21世紀の心の処方学 ―医学・看護学・心理学からの提言と実践―』アートアンドプレーン 223-232頁 2008年11月
- ・『わかりやすい臨床心理学入門』福村出版 41-55頁 2009年3月

【論 文】

- ・「高機能広汎性発達障害児に対するリラクセーションプログラムの作成（2）」（単著）『岐阜聖徳学園大学教育学部教育実践科学センター紀要』第8号 251-262頁 2009年2月
- ・「リラクセーション法による発達障害の支援」（単著）『アスペハート』21号 14-18頁 2009年3月

駒田 聡子 学校教育課程 初等家庭 准教授

【論 文】

- ・「保育所に通う子どもの朝食内容充実に向けた取り組み」（単著）『岐阜聖徳学園大学紀要（教育学部編）』第48集 33-44頁 2009年2月
- ・「保育士アンケートから見た食育の現状と課題 保育現場における『食育実践』を目指して」（単著）『食生活研究』Vol.29（3） 29-41頁 2009年2月

【研究発表】

- ・「小学生の朝食内容の検討…野菜・果物摂取について」平成21年度日本調理科学会 東海・北陸支部関西支部合同研究発表会 四日市市 2009年7月

坂井田 節 学校教育課程 初等理科 教授

【著 書】

〈単著〉

- ・『炭と木酢液の効果とそのメカニズム』木香書房 224頁 2008年11月

【論 文】

- ・「Growth Performance, Intestinal Histology and Subtle Energy in Aigamo Ducks Fed Dietary Wood Charcoal Powder Including Vinegar Liquid」（共著）『Journal of The Subtle Energy Association of Japan』 Vol. 14 80-89頁 2009年

佐藤 善人 学校教育課程 初等体育 専任講師

【著 書】

〈共著〉

- ・「小学校の体育授業づくり入門」学文社 2009年3月

【論文】

- ・「小学校の体育授業におけるタグ・ラグビーに関する研究 ―スローフォワードルールに焦点をあてて―」『スポーツ教育学研究』28巻1号 1-11頁 2008年11月
- ・「小学校体育におけるタグ・ラグビーの運動量に関する研究 ―ボールゲームが得意でない児童に焦点をあてて―」『岐阜聖徳学園大学教育学部教育実践科学研究センター紀要』第8号 197-212頁 2009年2月

【研究発表】

- ・「小学生の持久走に対する態度に関する研究」第21回ランニング学会 大阪学院大学 2009年3月
- ・「持久走・長距離走に対する態度に関する研究―小学生と中学生の比較を中心にして―」第60回日本体育学会 広島大学 2009年8月

鈴木明裕 学校教育課程 初等算数 准教授

【論文】

- ・「数学教育における「言語活動」についての研究」『岐阜聖徳学園大学紀要〈教育学部編〉』第48集 67-83頁 2009年2月
- ・「本学教育実習協力校における算数科の少人数指導ならびにTT指導の実施状況調査」『岐阜聖徳学園大学教育学部教育実践科学研究センター紀要』第8号 159-171頁 2009年2月
- ・「もし〇〇でなかったら どうなるかな?」―What if not?を口癖に―『数学教育』No.618 36-39頁 2009年4月

高田準一郎 学校教育課程 初等社会 准教授

【研究発表】

- ・「チューリッヒの景観と文化―都市の認知構造―」(単独)平成20年度山口地理学会2月例会 山口大学 2008年2月
- ・「ドイツに関わる環境政策の学習内容―現代アートの島 直島を事例に考える―」(単独)日独ESDワークショップ 科学研究費「ESD地理教材開発」メンバーによる第2回研究集会 広島サンプラザ 2009年3月
- ・「学習指導要領の歴史における分化と統合―EIDとESDの位置づけ―」(単独)第173回地理教育懇話会 ESD研究グループ 地理科学学会ワーキング・グループ 広島大学附属中・高等学校 2009年6月
- ・「国連機関の教育協力におけるESDの位置づけ―近代化論をめぐって―」(単独)第174回地理教育懇話会 ESD研究グループ 地理科学学会ワーキング・グループ 広島大学附属中高等学校 2009年7月
- ・「改訂学習指導要領の動向にみる分化と統合」(単独)平成21年度山口地理学会8月例会 山口県立徳山北高等学校 2009年8月

高村和代 学校心理課程 発達心理学 准教授

【著 書】

〈共著〉

・『保育のためのやさしい教育心理学』ナカニシヤ出版 2009年3月

〈訳本〉

・『自己概念研究ハンドブック』金子書房 461-491頁 2009年6月

【論 文】

・「榭場論文『青年後期におけるアイデンティティの発達過程及びそれに関与する要因について一過去と現在における「危機」「自己投入」の様相 及びアイデンティティ・ステータスの移行を中心として一』へのコメント」(単著)『青年心理学研究』第20号 155-160頁 2009年2月

成田幸夫 学校教育課程 教育方法学 教授

【著 書】

〈共著〉

・『小学校の社会科を読み解く』日本文教出版 2009年4月

・『授業時数増に対応する時間割編成』教育開発研究所 20-33頁 2008年12月

【論 文】

・「施設整備指針改定が現場教師に示唆するもの」(単著)『特別支援教育』春号 8-11頁 2009年2月

【研究発表】

・「名作といわれたオープン・プラン小学校の今」日本建築学会 建築会館 2008年12月

・「自由民権記念館を素材にして歴史学習の教材をつくる」日本個性化教育学会 カルポート高知 2009年8月

丹羽都美 学校教育課程 英語学概論 教授

【論 文】

・「英語学の知識を授業に活用する」『岐阜聖徳学園大学教育学部教育実践科学研究センター紀要』第8号 225-238頁 2009年2月

・「動詞・述部の日英比較」『岐阜聖徳学園大学紀要〈外国語学部編〉』第48集 23-35頁 2009年2月

丹羽正子 学校教育課程 児童福祉 教授

【著 書】

〈共著〉

・『新しい養護原理 第6版』ミネルヴァ書房 45-66頁 2009年3月

・『四訂 新選・児童福祉』みらい 133-147頁 2009年4月

【発 表】

・「保育学生の『進路』と『仕事と子育ての両立』について」日本保育学会第62回大会 千葉大学 2009年5月

橋元慶男 学校心理課程 学校集団心理学 教授

【著 書】

〈単著〉

- ・『生徒指導・進路指導要説』大学図書出版 2009年4月

【論 文】

- ・「The Young Present Situation and Problem to Choose Korean alternative education」(韓国の代案教育を選択する青少年の現状と課題)『アジア文化研究』25-40頁 2009年6月
- ・「自我状態の透過性調整力と学業的延引行動の関係」(共著)『日本交流分析研究』34巻1号 60-65頁 2009年9月

【研究発表】

- ・「笑いがストレス軽減と自己受容に与える影響」日本臨床催眠学会第10回学術大会 2008年11月
- ・「Step of ten years of Korean alternative education and a future problem」第12回アジア民族造形学会国際研究東京大会 2009年8月

濱千代いづみ 学校教育課程 初等国語 准教授

【論 文】

- ・「部首認識と学習漢字の部首」(単著)『岐阜聖徳学園大学教育学部教育実践科学研究センター紀要』第8号 129-142頁 2009年2月
- ・「天草版『エソポのハブラス』の助動詞の語彙—国字本『伊曾保物語』・天草版『平家物語』との比較を通して—」(単著)『岐阜聖徳学園大学国語国文学』第28号 123-144頁 2009年3月

早矢仕晶子 学校教育課程 初等図画工作 准教授

【著 書】

〈共著〉

- ・『保育園・幼稚園の絵画あそび』成美堂出版 2009年2月

廣田隆志 学校教育課程 国語科教育 教授

【論 文】

- ・「公開授業～「三コ」(斎藤隆介・作)」(単著)日本教育学会岐阜県支部『岐阜国語研究』第7号 18-33頁 2009年1月
- ・「授業構想～「三コ」(斎藤隆介・作)」(単著)『岐阜聖徳学園大学国語国文学』第28号 20-80頁 2009年3月

深貝美子 学校教育課程 声楽 教授

【著 書】

〈単著〉

- ・『童謡館Ⅶ「3拍子！おしゃれな歌の世界」深貝美子作曲作品集』三恵社 84頁 2009年8月

【研究発表】

- ・「ドイツ音楽の午後」メルサホール 2008年10月

藤田万喜子 学校教育課程 初等国語 教授

【著 書】

〈単著〉

- ・『言語感覚をみがく俳句』本阿弥書店 152頁 2008年10月

【論 文】

- ・「種田山頭火の俳句におけるオノマトペ表現」（単著）『岐阜聖徳学園大学紀要〈教育学部編〉』第48集 45-65頁 2009年2月

宮川典之 学校教育課程 経済学概論 教授

【著 書】

〈単著〉

- ・『一次産品問題を考える—史的考察・国際金融・大恐慌—』文眞堂 180頁 2009年9月

村上仁美 学校教育課程 初等音楽 准教授

【論 文】

- ・「小学校教員養成課程における授業づくりの学び——模擬授業を通して」（単著）『表現文化研究』第8巻第2号 99-112頁 2009年3月
- ・「日本語の韻律の獲得—母子間で交わされた3拍の唱えことばの抑揚」（共著）『表現文化研究』第8巻第2号 85-97頁 2009年3月

安田徳子 学校教育課程 国文学史 教授

【著 書】

〈単著〉

- ・『地方芝居・地芝居研究—名古屋とその周辺—』おうふう 350頁 2009年2月

〈共著〉

- ・『ひだ・みの地芝居の魅力』岐阜新聞社 2009年3月
- ・『芸処名古屋を訪ねて』名古屋北ライオンズクラブ創立45周年記念出版 2009年4月

【論 文】

- ・「地芝居の世話狂言—「八百屋献立」「寿門松」—」『岐阜聖徳学園大学国語国文学』第28号 1-11頁 2009年3月
- ・「鶯」詠の変遷—取合せに注目して—」『風葉和歌集研究報』第10号 26-32頁 2009年3月

吉澤寛之 学校心理課程 教育心理学 准教授

【著 書】

〈共著〉

- ・『社会心理学事典』丸善 238-239 400-401頁 2009年 6月
- ・『社会的迷惑の心理学』ナカニシヤ出版 167-181頁 2009年 9月

【論 文】

- ・「特集1 迷惑行動をなくすには 迷惑行動をなくす地域社会の在り方」(単著)『教育と医学』第56巻第10号 4-12頁 2008年10月
- ・「大学における新入生オリエンテーション授業活性化の試み」(共著)『岐阜聖徳学園大学教育学部教育実践科学研究センター紀要』第8号 277-290頁 2009年 2月
- ・「社会環境が反社会的行動に及ぼす影響—社会化と日常活動による媒介モデル—」(共著)『心理学研究』第80巻第1号 33-41頁 2009年 4月

吉永和加 学校教育課程 哲学・倫理学 准教授

【著 書】

〈共著〉

- ・『社会と感情』萌書房 139-161頁 2008年 3月
- ・『不安社会のアナトミー』萌書房 134-156頁 2008年 3月

【論 文】

- ・「感情による支配—ルソーにおける閉じた共同体—」『倫理学研究』第39号 14-24頁 2009年 4月

【学会発表】

- ・「感情による支配—ルソーにおける閉じた共同体—」関西倫理学会2008年度大会シンポジウム「感情と共同性」京都大学 2008年11月

吉橋由香 学校心理課程 障害児教育学 専任講師

【著 書】

〈共著〉

- ・「きちっと君の練習帳1・2」アスペ・エルデの会 2009年 9月

【論 文】

- ・「広汎性発達障害児の感情の概念的理解と自己の感情体験の統合に関する研究」(共著)『中京大学現代社会学部紀要』第2巻第1号 17-39頁 2009年 3月
- ・「高機能広汎性発達障害の意味的ネットワーク構造の特徴—言語連想課題を用いた検討—」(共著)『小児の精神と神経』第49巻第2号 149-161頁 2009年 6月
- ・「高機能広汎性発達障害児の自己の感情の認知—感情喚起状況における表情表出に関する認知の検討—」(共著)『小児の精神と神経』第49巻第3号 201-211頁 2009年 9月

【研究発表】

- ・「高機能広汎性発達障害児を対象とした完璧主義対応プログラム作成の試み」第101回小児精神神経学会 東京大学 2009年 6月

龍崎 忠 学校教育課程 道德教育の指導法 准教授

【著 書】

〈共著〉

- ・『創造現場の臨床教育学』明石書店 200-217頁 2008年12月
- ・『教職リニューアル』ミネルヴァ書房 141-145頁 2009年2月

【研究発表】

- ・「臨床教育学の動向とデューイ（4）：「希望の教育学」をめぐって」日本デューイ学会第52回研究大会 筑波大学 2008年10月

教育学部紀要投稿細則

(目的)

第1条 この細則は、紀要委員会規程第2条第2項に基づき、紀要への投稿に関する必要事項を定めることを目的とする。

(投稿者)

第2条 投稿者は、専任教育職員とする。なお、専任教育職員が主たる研究者となつて学外の研究協力者との共同研究を発表するときは、その旨を記して投稿しなければならない。

(初出原稿)

第3条 投稿する原稿は、未発表の学術論文に限る。

(査読及び掲載の可否)

第4条 投稿原稿は査読を経て、内容・形式などにおいて、紀要委員会が不適切であると判断したものは、その掲載を拒否若しくは修正を要請することができる。その場合には、委員長名で書面により通知する。

(原稿の形式)

第5条 原稿は、写真・図版等を含めて、原則として、和文の場合は、400字詰原稿用紙(又は1行20字・20行の用紙)75枚又は30,000字以内とし、欧文の場合は、8,000words以内、中文は400字詰原稿用紙で50枚又は20,000字以内とする。ただし注は含めるが参考文献は含めない。なお、原則として7行程度の要旨(サマリー又はアブストラクト)及び索引語(キーワード)を付するものとする。

(1) 英文以外の題名には、英文の題名を付す。

(2) 著者名には次のいずれかの形式を選び、アルファベット表記を付す。

Hanako SHOTOKU

SHOTOKU, Hanako

(3) 注は文中に入れずに、節・章・本文末のいずれかにまとめる。

(締切・刊行)

第6条 原稿の締切は、9月末日とする。

2 紀要の刊行は、2月末日とする。

(校正)

第7条 校正は、投稿者自身の責任で第三校まで行う。なお、校正は誤植の訂正にとどめ追加変更等は認めない。

(抜刷)

第8条 掲載論文については、抜刷30部を無償で交付する。

(保存)

第9条 掲載論文は、デジタル化し保存する。

(掲載論文のネットワーク上での公開)

第10条 掲載論文の公開については、別紙「紀要掲載論文公開同意書」に公開の可否を記入し、提出する。

(著作権)

第11条 掲載論文の著作権は著作者が所有するものとする。

(その他)

第12条 その他紀要投稿に関する必要な事項は、紀要委員会で定める。

附 則

- 1 この細則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 この細則の施行日をもって、紀要原稿募集細則（平成5年8月25日施行）は、廃止する。

附 則

この細則は、平成14年10月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成21年4月1日から施行する。

付記（申し合わせ事項）

印刷の体裁は次の3種類とし、投稿者がその一つを選ぶものとする。

- (1) 横書き1列 縦40行×横43字
- (2) 横書き2列 縦40行×横19字×2列
- (3) 縦書き2段 縦32字×横25行×2段